● ツユクサの花のつくり

まず、1 個のツユクサの花を見てみましょう。花被片、雄しべ、雌しべはどうなっているでしょう。

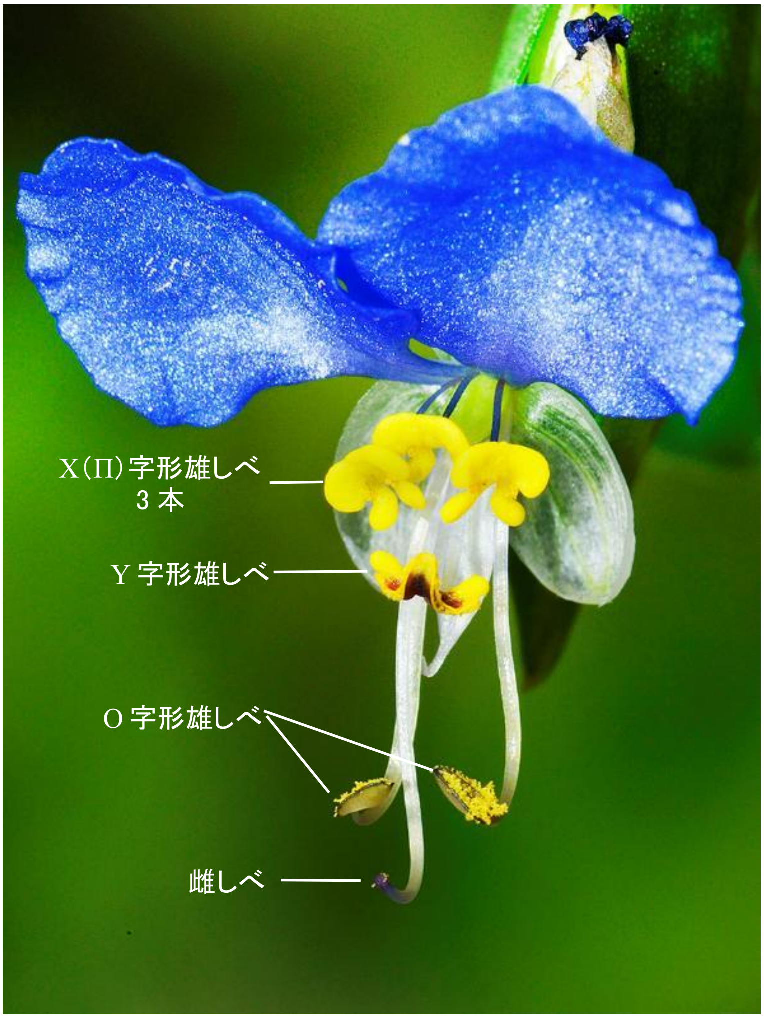
花被片（花弁とがく）は青色のミッキーマウスの耳のような 2 枚が目立ちますが、ぜんぶで 6 枚あります。
下向きの小さな白い花被片が 1 枚、それらの外側にさらに小さな 3 枚の花被片があります。

雄しべは 6 本です。上の黄色い 3 本は、X 字形（または Π(ぱい)字形）と呼ばれ、花粉をあまり出さず虫を誘うための仮雄しべです。真ん中の 1 本は、Y 字形と呼ばれ、やや花粉を出します。下の 2 本は O 字形と呼ばれ、花粉をたくさん出します。
雌しべは O 字形雄しべの間に長く伸びています。

次に花を包んでいる緑色の二枚貝の様な苞を開いてみましょう。
苞を開くと開花している花のほかにつぼみや若い果実などがありますね。ツユクサは一日に 1 つずつの花が咲きますが、これは花序の中の 1 個の花であることがわかります。

ツユクサの苞の中には、ふつう 2 本の花序柄があります。下向き（横向き）の柄には 2~4 個の花がつきます。花はすべて一日花で、朝咲いて午後にはしぼみます。苞の中で、つぼみは花序の下側、花後膨らんだ果実は上側に向いています。

みんなでツユクサの花を見る



↑ 花のつくりを見る

← 苞を開いて花序のつくりを見る

2025-3-8-1

戻る https://sizenkansatu.org/marugoto2025_3_rp.html

Copyright © 2025NPO Sizen Kansatu Daigaku. All rights reserved.

上向きの花序柄は花をつけない柄だけの場合が多いのですが、1 個の花をつける場合もあります。
上向きの花序柄に花をつける場合は、ふつう 1 つの苞から同時に 2 個の花が咲きます。

その時、上向きの花は雄花であることが多いようです。これは雌しべが退化した雄花です。
これに対して、長い雌しべがある花は両性花といいます。
両性花では、花が終わってしぼむときに、受粉できなかった花は雄しべと雌しべを巻き込んで自家受粉することが知られています。
（小幡和男）

← 2 個咲きのツユクサ
上に咲く花は雌しべのない雄花の場合が多い

2025-3-8-2

Copyright © 2025NPO Sizen Kansatu Daigaku. All rights reserved.

戻る https://sizenkansatu.org/marugoto2025_3_rp.html